

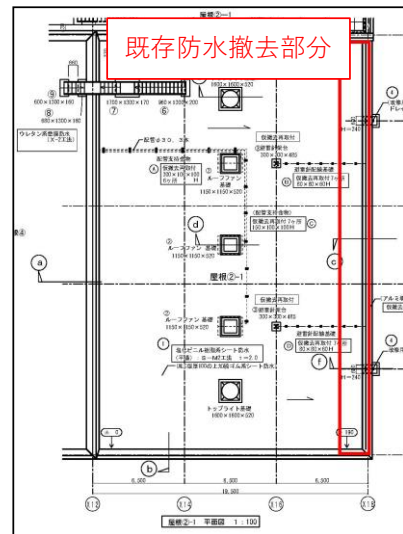
公共工事等事故情報

事故分類	一般事故	発生日時	令和 元年 12月 1日(日曜日) 22時 00分頃			工事関係者区分	元請け
事故区分	物損公衆災害	性別	—	年齢	—	業種区分	建築
被災程度	天井のグラスウールが水を含み一部剥がれる 壁付けの照明設備が漏電し、ブレーカーが			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	建物屋上の防水改良工事						
事故概要	屋根②-1作業中にて、既存平場防水層にたわみがあり、新規防水層施工時に支障を与える恐れがあると判断し、既存防水層の一部撤去を行い、その翌日の雨により漏水した。						
事故原因	元請け作業員が、多少漏水したとしても大きな被害につながらないと判断し、契約図書にない防水層の一部撤去を行った。現場代理人として防水層の撤去を把握していなかったため、雨の予報が出た時点で、仮防水施工や養生の指示が出せず、被害が拡大した。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・現場代理人の巡回頻度を増やし、現場作業員と現場代理人との連絡体制の改善を行った。 ・同様の事故が起こらないように現場作業員に事故状況を周知し、新規入場作業員には追加して注意喚起を行った。 						

事故状況図



既存防水撤去状況



漏水箇所図

改善策



注意喚起状況

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年12月6日(金曜日) 9時30分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	ガス引込管(φ25mm)を破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	配水管布設工事						
事故概要	配水管布設するため、バックホウで掘削作業中にガス引込管(φ25mm)を破損したものの。						
事故原因	事前に西部ガスと協議及び現地立会等の事故防止策を行い、細心の注意を払いながら人力掘削にてガス管をマーキング位置どおりに確認したため、機械掘削に切り替えて掘削作業を継続していた。しかしながら、確認した管は使用廃止管であり、使用中の管の上部には標識テープがあったため、掘削作業中の確認が不十分であったことが原因でバックホウのバケットにて破損したものである。						
改善策	<p>安全訓練を行い、再発防止として下記のことを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下埋設物のマーキング箇所の入念な確認を行う。 ・地下埋設物付近を掘削する際は、人力にて慎重に掘削し、埋設物の一部だけでなく全部の確認を行う。 						

事故状況図



改善状況図



再発防止に向けた安全訓練を実施

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年12月 6日(金曜日)10時15分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	-	業種区分	土木
被災程度	ガス供給管(φ30ポリエチレン管)を破損			事故レベル	I	休業見込日数	-
工事概要	配水管布設工事						
事故概要	新設管を布設するため機械掘削をした際に、ガスの供給管(φ30mm)を破損させたもの。						
事故原因	ガス管の埋設位置については、ガス会社と立会いマーキングを施すなど、事故防止の事前対策はしっかり行われていた。しかし、バックホウの操縦者が、地下埋設物を探っている合図者の合図を待たず、掘削したことで破損させたもの。						
改善策	安全訓練を行い、再発防止として下記のことを実施する。 地下埋設物付近を掘削する際は、地下埋設物のマーキング箇所の入念な確認を行ったうえで、人力にて慎重に掘削し、バックホウの運転手は合図者の指示を厳守することで、再発防止に努める。						

事故状況図



改善状況図

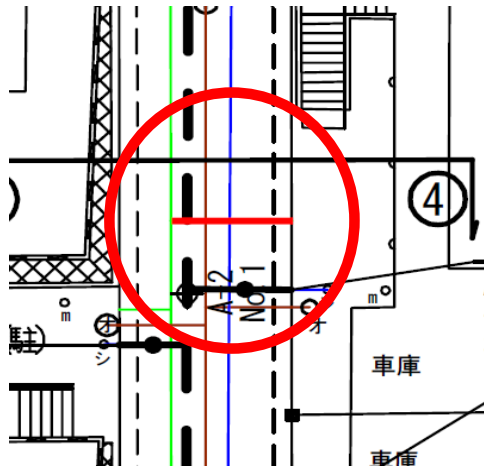


再発防止に向けた安全訓練を実施

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年12月 6日(金曜日)10時30分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	ガス供給管(φ25ポリエチレン管)を破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	配水管布設工事						
事故概要	新設管を布設するため機械掘削をした際に、ガスの供給管を破損させたもの。						
事故原因	<p>ガス管の埋設位置については、ガス会社と立会しマーキングを施していた。施工にあたりガス管本管の分岐口箇所は人力掘削で確認していたが、ガス供給管についてはマーキングの表示ではGL-0.8mの位置にあることとなっていたためGL-0.7mまでを目途にバックホウによる機械掘削を行っていたところ、ガス供給管が宅地に向かって徐々に上昇する状態で埋設されていたためGL-0.6mの位置にあったガス供給管にバックホウのバケットが接触しこれを破損した。マーキング表記は誤差が生じる可能性があるということを想定できておらず、人力での確認が不十分であったことが原因である。</p>						
改善策	<p>安全訓練を行い、再発防止として下記のことを実施する。 ・地下埋設物付近を掘削する際は、マーキング表記が実際の埋設位置と離れていることを想定したうえで、人力にて慎重に掘削し、埋設物の一部だけでなく全部の確認を行う。</p>						

事故状況図



改善状況図

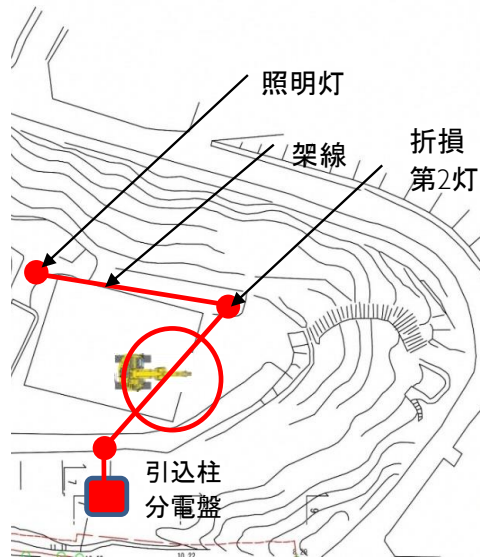


再発防止に向けた安全訓練を実施

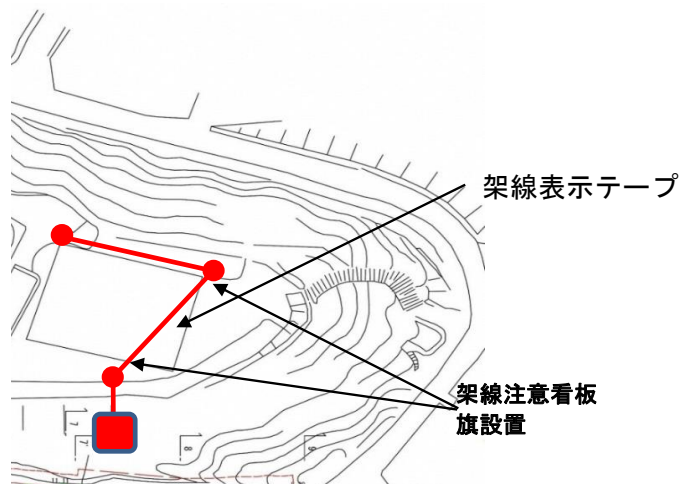
公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 元年12月11日(水曜日) 15時53分			工事関係者区分	元請け
事故区分	建設機械等	性別	男性	年齢	32	業種区分	土木
被災程度	小さい	事故レベル	I			休業見込日数	-
工事概要	ブロック塀撤去工事に伴う、残土仮置場での整地作業						
事故概要	バックホウのアームが照明灯架空線に掛かることで、生じた公園内照明灯1本の折損倒壊事故						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・重機作業時の周囲確認を怠ったこと。 ・監視員が他の作業(資材整理)をしており架線注意を怠ったこと。 ・架線に注意表示等をしていなかったこと。 						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・同様の事例を題材とした安全訓練で作業員の教育を行うこと。 ・毎日のKY活動で危険個所の確認を徹底させること。 ・機械誘導員に監視作業を専念させること。 ・架線注意表示を複数個所設置し、架線下端に安全ロープを設置すること。 						

事故状況図



改善状況図



公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 元年 12月 12日(木曜日) 10時 15分			工事関係者区分	元請け
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	—	業種区分	建築
被災程度	ホース固定受け金物の破損			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	仮眠室改修工事						
事故概要	作業員1名が誘導を行い、仮設トイレを積んだトラックがバックで設置場所まで走行していたところ、トラックの後方が外壁から突出しているホース固定パイプの受け金物に接触し、金物を曲げてしまったもの。						
事故原因	<ul style="list-style-type: none"> ・トラック後進時に運転手と誘導者の意思疎通が不十分であったこと。 ・運転者の周辺確認が不十分であったこと。 						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・狭い場所への乗り込みは誘導員を配置し、運転手も下車し周辺の確認を徹底させ、再発防止を図る。 						

事故状況図



トラックが接触し、曲がった金物

改善状況図



周囲確認状況

公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和 元年 12月 18日(水曜日) 12時 00分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	挟まれ・巻き込まれ	性別	男性	年齢	42	業種区分	建築
被災程度	右手小指の爪先切断(1cm程度)			事故レベル	I	休業見込日数	0
工事概要	建物外壁改修工事						
事故概要	・足場材撤去作業において、撤去した足場材(マスト、長さ約1.5m、重量約45kg)の集積作業を行っていたところ、作業員(受傷者)がマストとマストの間に右手を挟まれ受傷(小指爪先を1cm程度切断)した。						
事故原因	・事故発生作業が高所作業でなく地上部での作業であったことや作業の内容が単純な作業であったため作業員に油断があったこと、さらに休憩前の時間帯であったため作業員の注意力が散漫になっていた。						
改善策	・毎日の危険予知活動等において、地上部での作業内容についても注意喚起を行う。 ・作業責任者が適切な時間帯に巡視・声掛けを頻繁に行うなどで作業員の事故防止の意識向上や再発防止に努める。						

事故状況図



・事故周辺状況



・事故状況

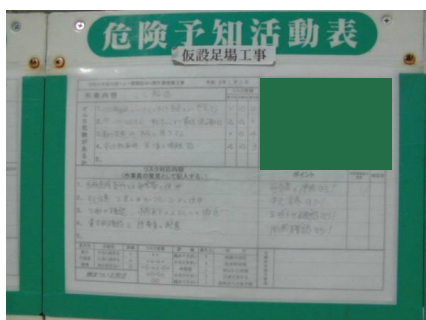


・事故状況(挟み込み)

改善状況図



・危険予知活動



・掲示板

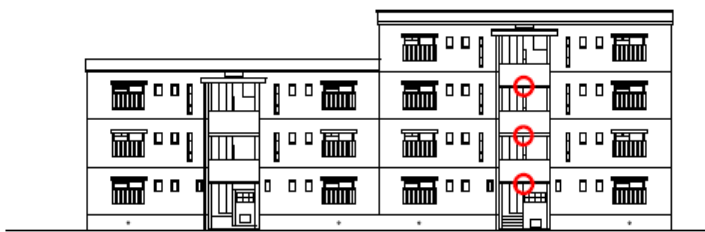


・作業責任者巡視状況

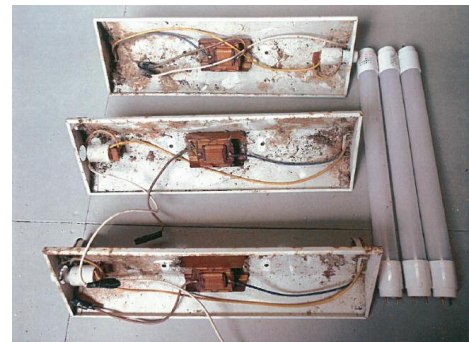
公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年12月11日(水曜日)17時30分			工事関係者区分	二次下請
事故区分	その他の物損	性別	男性	年齢	37	業種区分	建築
被災程度	既設照明器具の停電			事故レベル	I	休業見込日数	-
工事概要	建物の外壁改修工事						
事故概要	下地清掃に伴い、高圧洗浄機による洗浄作業を行っていたところ、階段室の天井灯内に水が入り漏電し、当該天井灯3基を停電させたもの。						
事故原因	洗浄作業における事前の天井灯の養生が不十分であったため。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の作業におけるリスクも取り入れた再発防止に向けた協議会を作業責任者を含め実施した。 ・日々のKY活動を当日作業する作業従事者を集めて行い、自社以外の業者が実施する作業内容や危険作業を把握できるように周知方法の改善を行った。 						

事故状況図



○：停電箇所



停電した照明器具(3基)

改善状況図



<再発防止に向けた協議会状況写真>



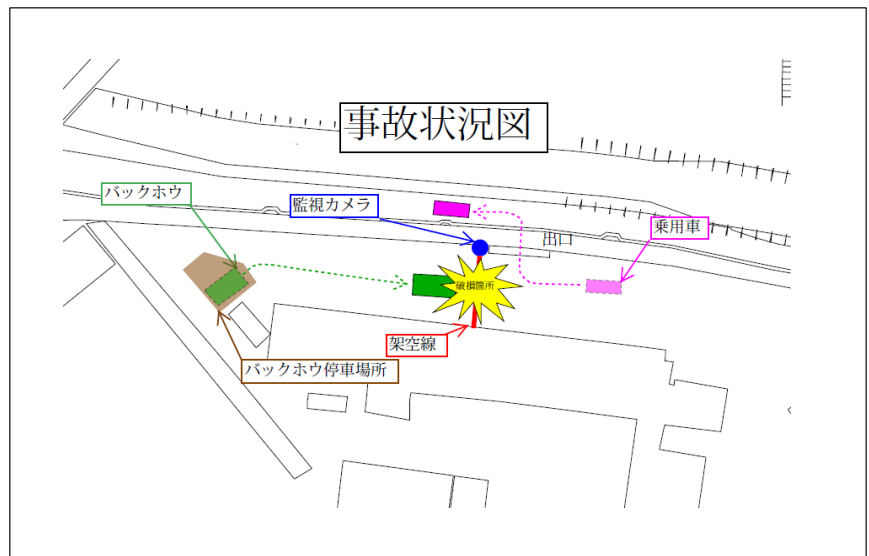
<改善後のKY活動実施・指示状況写真>

公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和元年12月17日(火曜日)22時00分			工事関係者区分	元請け
事故区分	架空線・信号等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	監視カメラポールの屈曲とその架空線の破損	事故レベル	I			休業見込日数	
工事概要	耐震ネットワーク整備に伴う配水管の更新工事						
事故概要	バックホウを作業のため駐車場所から出口に向かってアームを下げて進行していたが、対面より車両が接近したため、バックホウを後進させるとともに、アームのライトが車両の運転に支障しないよう、アームを引き上げて180度旋回させ、車両通過後、再度上部を旋回させ前進したところ、アームが架空線に接触し、監視カメラのポール及びその架空線を破損させた。						
事故原因	バックホウのオペレータ及び合図者が、架空線への注意が不十分であり、見落としたこと。						
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のKY活動等で、架空線等の近傍で機械作業等を行う際に、運転者は常に架空線等周辺を確認しながら操作することを徹底する。 ・合図者を配置し、機械が稼働しているときは常に架空線等への注意を払い適切に誘導することを徹底する。 ・架空線を認識しやすくするための注意表示等を設置した。 						

事故状況図

破損箇所(ポール)



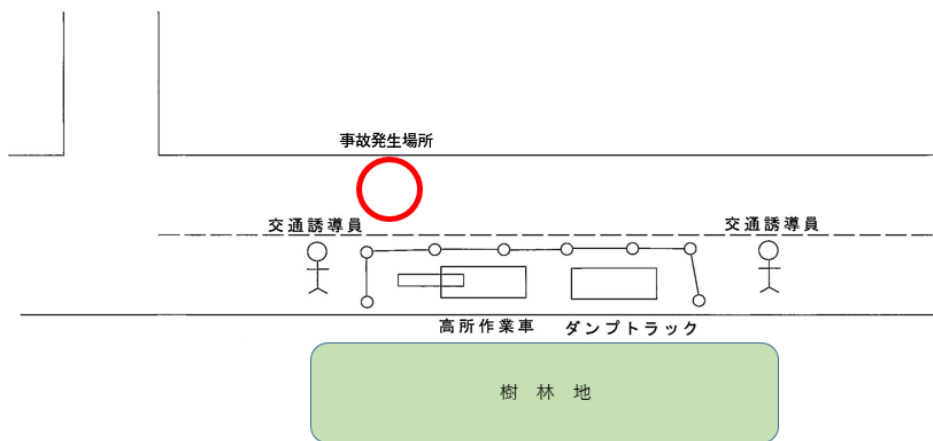
改善状況図



公共工事等事故情報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	令和 1年12月25日(水曜日) 11時30分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	飛来落下	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	自動車右前方のボディにへこみ傷			事故レベル	I	休業見込日数	—
工事概要	高木の剪定作業						
事故概要	剪定作業中、ロープを掛けて下ろそうとした枝が途中で折れ、道路上に落下、その枝が跳ねて通行中の自動車の右前方に接触した。						
事故原因	吊り下げ時に枝の状態確認が十分でなく、枝が腐朽して脆くなっていることに気づけなかった。						
改善策	安全訓練実施。再発防止として、剪定枝をロープで吊り降ろす作業を行う際には、吊り降ろす前に枝の状態(腐食が無い等)を手で触れて確認する。						

事故状況図



改善状況図

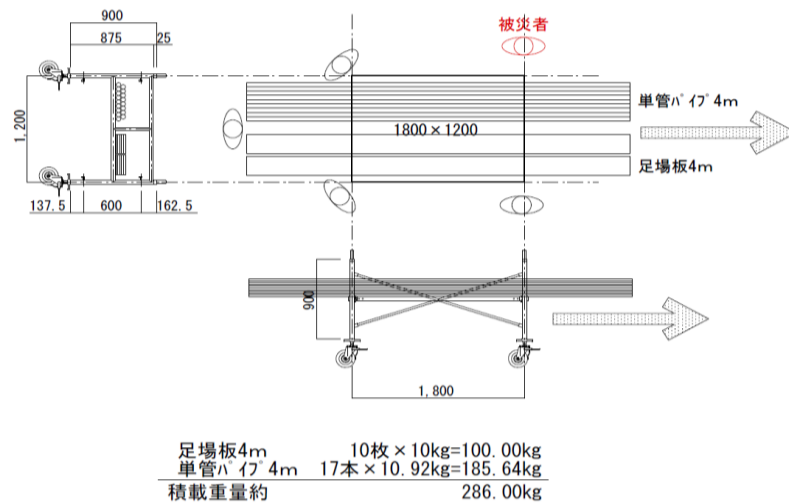


安全訓練を実施

公共工事等事故情報

事故分類	労働災害	発生日時	令和元年 12月 19日(木曜日) 4時10分			工事関係者区分	三次下請
事故区分	挟まれ・巻き込まれ	性別	男性	年齢	26	業種区分	建築
被災程度	1か月程度の加療			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	1か月程度
工事概要	外装改修工事						
事故概要	足場解体材をローリング台車に積み、5人で仮置き小運搬していた際、運搬経路上の勾配を超える為、勢いを付けすぎ、進行方向左前に配置していた被災者の足を台車のタイヤが通過し、被災者の右側足指を骨折した。(被災者は安全足袋着用)						
事故原因	5人(進行方向前方に2名、後方に3名)で移動する際、声を掛け合いながら移動しておらず、勾配及び段差等を移動する際に前方に配置した作業員を台車のタイヤ通過線上より避けていなかったため。						
改善策	複数名で資材運搬に台車等を使用する際は、事前に合図の方法や安全な運搬手順、積載の適正量、ルート上の障害物有無の確認を徹底を図った。						

事故状況図



改善状況図



新規入場者教育での確認状況



KY活動での確認状況